

子どもセンター「パオ」ボランティアスタッフ養成講座 受講生募集要項

(2024年12月)

募集人員：20名

受講期間：2025年2月5日(水)から3月19日(水) 午後6時30分から午後8時30分

研修会場：パオ事務局（名古屋市東区泉2-22-17 ぬむづビル3階 原田・高橋法律事務所内）

（ただし、応募人数に応じて会場変更する場合があります）

受講費用：無料。但し、パオの賛助会員（年会費5000円）になっていただくことが条件です

受講資格：満18歳以上で、子ども虐待・子どもの福祉に関心があり、子どもセンター「パオ」の事業に賛同される方

申し込み期限：2025年1月17日(金)必着

*なお、定員を満了した場合、受講資格を満たしていない場合、受講をお断りすることがあります。

- 1 研修日程・研修講師は別紙のとおりです。
- 2 ボランティアスタッフは、生活支援援助者として、子どもセンター「パオ」が開設する子どもシェルター、ステップハウス（自立援助ホーム）で子どもたちの日常的なケアを補助します。
また、ボランティアスタッフが持っている趣味、技能などを活かして、子どものデイケア（寺子屋）のスタッフとしても活躍していただきます。
- 3 研修を受講するには、受講資格を満たすとともに、下記の条件をすべて満たす必要があります。
(ア) 受講申込書による書類審査で受講を認められること。
(イ) 受講の条件として、守秘義務を守ること。
(ウ) 子どもセンター「パオ」の賛助会員であること。（1口5000円、受講決定後の加入も可能）
- 4 研修の終了及びボランティアスタッフとして登録が認められるには、下記の基準を満たす必要があります。
(ア) 原則としてすべての研修に出席をすること。
(イ) やむを得ず欠席をする場合は、事前に事務局まで連絡をすること。
(ウ) 出席状況、受講態度、レポートの内容及び提出状況が良好なこと。
(エ) 最終日の座談会に出席すること。
- 5 諸事情により受講が継続できなくなった場合、その旨を書面または口頭で申し出てください。
- 6 常勤・非常勤スタッフも募集しておりますので、ご希望がありましたらいつでもお声がけください。
*研修受講の諾否、スタッフとしての採用の可否にかかわらず、申込書に記載された個人情報については、子どもセンター「パオ」の活動上必要な範囲以外では使用しません。

子どもセンター「パオ」ボランティアスタッフ養成講座等に関する問い合わせ・申し込み先

〒461-0001 名古屋市東区泉2-22-17 ぬむづビル2階 原田・高橋法律事務所内

NPO法人 子どもセンター「パオ」

052-931-4680 (Tel, Fax)

(別紙)

講座内容

会場: パオ事務局及びz o o m

NO	日時	テーマ	内容	講師
1	2月5日(水) 午後6時30分～ 午後8時30分	子どもセンター「パオ」が 目指すもの	オリエンテーション、活動概 要、守秘義務、受講者の自己 紹介、パートナー弁護士によ る役割・支援等、「パオ」が目 指すものなど	高橋 直紹 さん (パオ事務局長)
2	2月12日(水) 午後6時30分～ 午後8時30分	丘のいえ、ぴあ・かもみー るにおける生活・自立援助	子どもの声を聴きながら、子 どもシェルター、自立援助ホ ームでのチームアプローチに よる生活・自立支援、など	永原 彩夏 さん (ぴあかも施設長) 北川 喜郎 さん (パオ弁護士)
3	2月19日(水) 午後6時30分～ 午後8時30分	児童虐待や社会的養護の 現状と課題について	児童福祉法の改正と児童虐待 対応の現状・課題、 社会的養護の現状・課題など 理解する	横井 秀樹 さん (名古屋市中央児童 相談所相談課長)
4	2月26日(水) 午後6時30分～ 午後8時30分	子どもの理解と生活援助 —子どもの支援で大切にし たいこと—	子どもの理解、愛着障害、生 活支援、子どもとの関わりで 大切にしたいことなど	坂 鏡子 さん (TOKOTOKO 理事長、パオ理事)
5	3月5日(水) 午後6時30分～ 午後8時30分	鼎談 —児童相談所からパオに期 待すること—	児童相談所の様々な領域で実 践してきた方々のトークショ ー	井上 香奈子 さん (中部大学) 渡邊 佐知子 さん (パオ理事長) 萬屋 育子 さん (パオ理事)
6	3月12日(水) 午後6時30分～ 午後8時30分	虐待を受けた子どもの行動の 理解と対応	虐待を受けた子どもの行動、 心理、認知を理解し、その対 応について考える 前半:講義 後半:演習(グループワーク)	渡邊 忍 さん (パオ理事)
7	3月19日(水) 午後6時30分～ 午後8時30分	座談会 —私たちが目指すボランテ ィアスタッフ—	講座の感想、ボランティア スタッフへの思い、登録手続 き、今後の見とおし	研修担当